

## Moodle 講習会の総評

### (1) 新年度に向けたアカウントおよびコースの事前準備

平成 21 年度末講習会に出席された先生方は既に平成 22 年度の Moodle 利用を計画されていたため、事前にアカウントとコースを用意し、講習会では実際に担当するコースにおいて Moodle の操作を行っていただいた。そのため、平成 21 年度末講習会に参加された先生方に関しては、平成 22 年度よりスムーズに Moodle をご活用いただけると考えている。

### (2) 非常勤講師への Moodle 活用の提案

平成 21 年度末講習会には非常勤講師の先生方にも参加いただいた。これまでは課題提出や質問等の学生対応において、時間や場所の制約が大きい非常勤講師の先生方に、それらの制約の解消として Moodle の活用を提案ができ、非常に有益だったと考えている。

### (3) 教務システムにおける Moodle の位置づけの検討

平成 21 年度末講習会には、本学の教務課職員にも参加いただいた。この点は、将来、本学の教務のシステムにおける Moodle の位置づけを考えていく上で、本講習会が最初の重要な機会となったと考えている。

### (4) 講習時間を確保することの難しさ

学期期間中に数回にわたり講習会を開催する必要がある、参加される教職員の方々のスケジュール調整、および、会場の確保が困難を極めた。その為、平成 21 年度末に実施したような CALL 教室等で参加者に実際に Moodle の操作や、コースの編集を体験していただく実習形式ではなく、昼休みの時間帯にプレゼンテーションルームにおいて PowerPoint 資料を提示する講義形式で、講習を行った。講習会の回数を多くこなすことができたため、Moodle に関するトピックを数多く扱うことができたが、一方で、Moodle の操作の十分な理解という面ではあまり効果的ではなかったといえる。

### (5) Moodle 上への講習会コースの設置

平成 22 年度講習会シリーズ開催に合わせ、本学 Moodle 上に「moodle 講習会」

というコースを設けた（図）。これにより、本講習会の提示資料や開催情報、本学の Moodle に関するメンテナンスなどの情報をいち早く効率的に伝達することができただけでなく、このコースへ事後学習的にアクセスし、資料の参照や実際の操作を試みる事例が多くあり、前記(4)での問題を一部解消するのに役立つと考える。

The screenshot shows the Moodle course page for 'moodle講習会'. The user is logged in as Yukio Furukawa. The page features a navigation menu on the left with categories like '人' (People), '活動' (Activities), 'フォーラム' (Forums), 'リソース' (Resources), and 'マイコース' (My Courses). The main content area is titled 'トピックアウトライン' (Topic Outline) and contains two numbered sections. Section 1 is '入門編(2月17日、3月15日、4月21日開催)' (Introduction (February 17, March 15, April 21)) and Section 2 is '実践編1: 映像資料を中心としたリソースの追加方法(4月28日開催)' (Practical 1: Adding resources centered on video materials (April 28)). Each section includes a list of topics and a link to '入門編スライド資料' (Introduction Slides) and '実践編1映像リソーススライド資料' (Practical 1 Video Resource Slides).

図: 本学 moodle 「moodle 講習会」 コーストップページ